

第 3 章 目指すべき将来の環境像

1

川口市の将来の環境像

家庭、学校、職場といった生活のさまざまな場面におけるあらゆる活動は、環境と深い関わりがあります。豊かで良好な環境からは、食物やエネルギー資源、うるおいやすらぎなど、多大な恩恵を受けていますが、一人ひとりの行動は、時として自らの生活環境を悪化させ、さらには地球温暖化による気候変動など地球規模の環境悪化を招く要因ともなっています。

私たちは、日々刻々と変化している社会や経済の状況を踏まえながら、かけがえのない環境を未来の世代に引き継いでいくため、たゆまぬ努力を重ねていかなければなりません。

本市のまちづくりのビジョンである「第5次川口市総合計画」では、将来都市像「人としごとが輝く しなやかでたくましい都市 川口」を実現するための6つのめざす姿の一つとして「都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”」を掲げています。

本計画は、この「都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”」および環境基本条例の基本理念である「市民が健康で文化的な生活を営む上で必要となる良好な環境を確保するとともに、これを将来の世代へ継承していく」ことなどを実現するため、市民・事業者・市の協働で、より良い環境づくりに取り組む意志を込めて、以下の目指すべき将来の環境像を定めます。

川口市の将来の環境像

**みんなで、よりよい環境を未来につなぐ、
都市と自然が調和した、元気なまち 川口**

2

基本目標

将来の環境像「みんなで、よりよい環境を未来につなぐ、都市と自然が調和した、元気なまち 川口」の実現に向けて、本計画が目指す10年後の川口市のイメージを5つの分野に描いてみました。

これらの将来イメージを基本目標として位置づけ、市民・事業者・市の協働のもとで、環境像の実現に向けた取り組みを進めていきます。

循環型社会の実現

～限りある資源を有効に利用するまち～

限られた資源を大切に使う社会が確立され、資源の消費が抑えられています。リデュースやリユースの取り組みが浸透することにより、市民や事業者は、ごみになりにくいもの、リユースが容易な商品を選び、本当に必要な量だけを購入しています。

また、ごみを資源として活用できるよう分別して排出することが市民や事業者に浸透し、環境に負荷をかけず、かつ有用性の高いリサイクルに取り組み、質の高い資源循環が行われています。

安全・安心・快適社会の実現

～安心して快適に暮らせるまち～

大気や河川水質の汚染、騒音などに対する調査・監視・指導の継続により、環境基準*を達成し、都市生活型公害*の少ない、安心なまちになっています。

多くの市民や事業者と協働で取り組む「全市一斉クリーンタウン作戦」や、監視活動により、ポイ捨てや不法投棄によるごみが少なくなり、清潔できれいなまちが維持されています。

景観に配慮した美しいまちなみの住宅地や商業地が増え、川口らしい歴史と豊かさを感じさせる景観が広がる快適なまちになっています。

自然共生社会の実現

～豊かな自然とともに暮らせるまち～

荒川や芝川など多くの水辺空間や、見沼田んぼをはじめ、雑木林、斜面林などの豊かな緑が、市民や事業者との協働で保全、再生され、多様な動植物の生態が維持されています。また、これらの身近な自然は、貴重な地域資源として、人々が自然と触れ合う場として活用され、次世代に引き継がれています。

身近な緑の創出が進み、公園の植栽や街路樹など公共の場の緑化に加え、住宅の庭先やビルの屋上、さらには壁面への緑化により、身近に自然が感じられる快適なまちになっています。

低炭素社会の実現

～地球環境に配慮した暮らしを実践するまち～

省資源・省エネルギー型の賢いライフスタイル、ビジネススタイルを選択することは、市民や事業者にとって「日常的な習慣」になっています。

再生可能エネルギー設備などにより家庭や地域でのエネルギー創出がさらに進み、また、エネルギー創出に加え断熱性などの省エネルギー性能を追求したエネルギー収支がプラスマイナス「ゼロ」の住宅や工場、ビルの建設が進んでいます。

街路や交通網の整備などにより市内の移動が円滑になり、電気自動車や燃料電池*自動車などの環境にやさしい自動車が普及するなど、まちの低炭素化*が進んでいます。さらに、集中豪雨に対する防災意識や異常高温に伴う熱中症予防のための意識が高まるなど、気候変動の影響による被害を最小限とする行動が定着しています。

環境保全活動の拡大

～将来世代へ良好な環境を引き継ぐことができるまち～

環境をより豊かにして未来の子どもたちへ引き継ぐために、家庭や学校、職場など様々な場面で、環境問題について正しい知識を学ぶ仕組みが整っています。

また、地域での身近な環境問題の解決に向けて、積極的に環境に配慮した行動を実践する市民や事業者が増えています。

子どもから大人まで誰もが気軽に楽しみながら参加できる環境学習会やイベントが数多く開催されるなど、環境学習の機会も増え、市民・事業者・市の協働による環境保全活動が活発化しています。